

●雨の中で待機する場合に必要な装備リスト

- つばのある帽子（通気性の良いもの）
- しっかりした防水性能を持ったポンチョやレインウェア
- タオル（予備3枚以上。1枚は首に巻く）

- 化繊（ポリエステル）系を主にした衣服
※濡れても透けない、乾きやすいものを選ぼう

- 防水のバッグか、バッグをすっぽり覆える大きさのビニール
- バッグの中で本を守るためのケースやポリ袋など
- 脱いだ雨具をしまう防水スタッフバッグやビニール袋
- 肌着、下着、靴下の着替え
- ビニール、ナイロン、防水布などの雨に強いサブバッグ

- 化繊やウール等、水を溜め込まない繊維の靴下
- 防水で滑りにくい靴／または濡れてもすぐ乾く靴
※ただし足をケガする危険があるのでサンダルは避ける



■サークル参加者が注意すべき事

雨はサークル参加者にとっては正に悪夢だ。会場への直接搬入を行うサークルは気象情報でもし雨の可能性が少しでもあるなら、搬入する本やディスプレイ用品を全てビニールの袋に入れてから、搬入用のバッグや箱に入れよう。

それをかばいながらの搬入のためには、上下セパレート式のきちんとしたレインウェアも欲しい（幸い、入場後脱いでも置いておける場所はあるのだから）。駅から会場までのルートも雨の時は晴れの時よりも時間がかかるので、サークル入場時間の内にゲートに辿り着けるよう、早め早めに行動することも忘れてはいけない（特に自動車を使うサークルはかなり余裕を持って出発しなくてはならない）。

タオルや雑巾は多めに用意し、見本誌には湿度や滴る水気を防げる透明なカバーを掛けておくといよい。午後になって雨が降っているなら、宅配便の受付場所が屋内に変更になるので確認が必要だ。そして、この雨天の屋内受付は毎回非常に時間がかかってしまうのが通例になっている。帰宅のための交通機関の時間が決まっている参加者は、かなり早めに撤収を始める必要に迫られるかもしれない。

また、受付待機列に長時間並ぶことになるかもしれないので、重い箱を手で持ち続けることはとてもツライ。複数人で運ぶか、台車やカート類を用意した方が良いだろう（開会中の会場をそれらで抜ける際には、細心の注意を払って安全に！）。

■雨に濡れてしまったら

不運にして対応が間に合わず、雨に濡れてしまったら、できるだけ早く着替えよう。真夏でも濡れたままの服でいると体調を崩しやすくなるし、もちろん周囲の参加者にも大迷惑だ。ぼたぼたとしずくを垂らしながらサークルの前に立つのは、頒布物を濡らしてダメにしてしまいかねないので絶対にやめよう（雨に限らず、汗でも同じだ）。そのためにも、晴れていても降っていても、予め最低限の着替えは持ち物に含めておくべきだし、もちろん全身丸々着替えを用意することは難しいので、ズボン（スカート）やシャツ等は濡れてしまっても乾きやすいものを選んで着ていくことが大切なのだ。

雨で下着まで濡れてしまった、汗をたくさんかいたので本格的に着替えたい、というような場合なら、コスプレ更衣室が無料で使用できる。

シャツ等を替えるような簡単な着替えならガレリアなどの周囲の参加者に迷惑にならない場所でなら行なうことができる。

ただしコスプレ更衣室はほとんどの会期中長蛇の列なので、着替えに時間を取られたくなかったら着衣の組み合わせから考え、万一濡れてしまっても着替えずに済む乾きやすいウェアを中心に構成して、最低限シャツや靴下などの簡単な着替えですませられるようにすることを推奨する。

ポンチョやレインウェアも会場に入ったらホールに入る前に脱ぐのが望ましい。行列などで屋外への出入りがあり脱がない方がよい場合でも、屋内に入ったら即タオルでよく水滴を拭き取ろう。



●雨の中で待機する場合に必要な装備リスト

- つばのある帽子（通気性の良いもの）
- しっかりした防水性能を持ったポンチョやレインウェア
- タオル（予備3枚以上。1枚は首に巻く）

- 化繊（ポリエステル）系を主にした衣服
※濡れても透けない、乾きやすいものを選ぼう

- 防水のバッグか、バッグをすっぽり覆える大きさのビニール
- バッグの中で本を守るためのケースやポリ袋など
- 脱いだ雨具をしまう防水スタッフバッグやビニール袋
- 肌着、下着、靴下の着替え
- ビニール、ナイロン、防水布などの雨に強いサブバッグ

- 化繊やウール等、水を溜め込まない繊維の靴下
- 防水で滑りにくい靴／または濡れてもすぐ乾く靴
※ただし足をケガする危険があるのでサンダルは避ける



■サークル参加者が注意すべき事

雨はサークル参加者にとっては正に悪夢だ。会場への直接搬入を行うサークルは気象情報でもし雨の可能性が少しでもあるなら、搬入する本やディスプレイ用品を全てビニールの袋に入れてから、搬入用のバッグや箱に入れよう。

それをかばいながらの搬入のためには、上下セパレート式のきちんとしたレインウェアも欲しい（辛い、入場後脱いでも置いておける場所はあるのだから）。駅から会場までのルートも雨の時は晴れの時よりも時間がかかるので、**サークル入場時間の内にゲートに辿り着けるよう、早め早めに行動することも忘れてはいけない**（特に自動車を使うサークルはかなり余裕を持って出発しなくてはならない）。

タオルや雑巾は多めに用意し、見本誌には湿度や滴る水気を防げる透明なカバーを掛けておくとよい。

午後になって雨が降っているなら、宅配便の受付場所が屋内に変更になるので確認が必要だ。そして、この雨天の屋内受付は毎回非常に時間がかかってしまうのが通例になっている。帰宅のための交通機関の時間が決まっている参加者は、かなり早めに撤収を始める必要に迫られるかもしれない。

また、受付待機列に長時間並びことになるかもしれないので、重い箱を手で持ち続けることはとてもツライ。複数人で運ぶか、台車やカート類を用意した方が良いでしょう（開会中の会場をそれらで抜ける際には、細心の注意を払って安全に！）。

■雨に濡れてしまったら

不運にして対応が間に合わず、雨に濡れてしまったら、できるだけ早く着替えよう。真夏でも濡れたままの服でいると体調を崩しやすくなるし、もちろん周囲の参加者にも大迷惑だ。**ぼたぼたとしずくを垂らしながらサークルの前に立つのは、頒布物を濡らしてダメにしまいかねないので絶対にやめよう（雨に限らず、汗でも同じだ）**。そのためにも、晴れていても降っていても、予め最低限の着替えは持ち物に含めておくべきだし、もちろん全身分丸々着替えを用意することは難しいので、ズボン（スカート）やシャツ等は濡れてしまっても乾きやすいものを選んで着ていくことが大切なのだ。

雨で下着まで濡れてしまった、汗をたくさんかいたので**本格的に着替えたい、というような場合なら、コスプレ更衣室が無料で使用できる。**

シャツ等を替えるような簡単な着替えならガレリアなどの周囲の参加者に迷惑にならない場所で行なうことができる。

ただしコスプレ更衣室はほとんどの会期中長蛇の列なので、着替えに時間を取られたくなかったら着衣の組み合わせから考え、万一濡れてしまっても着替えずに済む乾きやすいウェアを中心に構成して、最低限シャツや靴下などの簡単な着替えですませられるようにすることを推奨する。

ポンチョやレインウェアも会場に入ったらホールに入る前に脱ぐのが望ましい。行列などで屋外への出入りがあり脱がない方がよい場合でも、**屋内に入ったら即タオルでよく水滴を拭き取ろう。**



●雨の中で待機する場合に必要な装備リスト

- つばのある帽子（通気性の良いもの）
- しっかりした防水性能を持ったポンチョやレインウェア
- タオル（予備3枚以上。1枚は首に巻く）
- 化繊（ポリエステル）系を主にした衣服
※濡れても透けない、乾きやすいものを選ぼう
- 防水のバッグか、バッグをすっぽり覆える大きさのビニール
- バッグの中で本を守るためのケースやポリ袋など
- 脱いだ雨具をしまう防水スタッフバッグやビニール袋
- 肌着、下着、靴下の着替え
- ビニール、ナイロン、防水布などの雨に強いサブバッグ
- 化繊やウール等、水を溜め込まない繊維の靴下
- 防水で滑りにくい靴／または濡れてもすぐ乾く靴
※ただし足をケガする危険があるのでサンダルは避ける



■サークル参加者が注意すべき事

雨はサークル参加者にとっては正に悪夢だ。会場への直接搬入を行うサークルは気象情報でもし雨の可能性が少しでもあるなら、搬入する本やディスプレイ用品を全てビニールの袋に入れてから、搬入用のバッグや箱に入れよう。

それをかばいながらの搬入のためには、上下セパレート式のきちんとしたレインウェアも欲しい（幸い、入場後脱いでも置いておける場所はあるのだから）。駅から会場までのルートも雨の時は晴れの時よりも時間がかかるので、**サークル入場時間の内にゲートに辿り着けるよう、早め早めに行動することも忘れてはいけない**（特に自動車を使うサークルはかなり余裕を持って出発しなくてはならない）。

タオルや雑巾は多めに用意し、見本誌には湿度や滴る水気を防げる透明なカバーを掛けておくとうい。午後になって雨が降っているなら、宅配便の受付場所が屋内に変更になるので確認が必要だ。そして、この雨天の屋内受付は毎回非常に時間がかかってしまうのが通例になっている。帰宅のための交通機関の時間が決まっている参加者は、かなり早めに撤収を始める必要に迫られるかもしれない。

また、受付待機列に長時間並ぶことになるかもしれないので、重い箱を手で持ち続けることはとてもツライ。複数人で運ぶか、台車やカート類を用意した方が良いだろう（開会中の会場をそれらで抜ける際には、細心の注意を払って安全に！）。

■雨に濡れてしまったら

不運にして対応が間に合わず、雨に濡れてしまったら、できるだけ早く着替えよう。真夏でも濡れたままの服でいると体調を崩しやすくなるし、もちろん周囲の参加者にも大迷惑だ。ぼたぼたとしずくを垂らしながらサークルの前に立つのは、**頒布物を濡らしてダメにしてしまいかねないので絶対にやめよう（雨に限らず、汗でも同じだ）**。そのためにも、晴れていても降っていても、予め最低限の着替えは持ち物に含めておくべきだし、もちろん全身丸々着替えを用意することは難しいので、ズボン（スカート）やシャツ等は濡れてしまっても乾きやすいものを選んで着ていくことが大切なのだ。

雨で下着まで濡れてしまった、汗をたくさんかいたので本格的に着替えたい、**というような場合なら、コスプレ更衣室が無料で使用できる。**

シャツ等を替えるような簡単な着替えならガレリアなどの周囲の参加者に迷惑にならない場所でなら行なうことができる。

ただしコスプレ更衣室はほとんどの会期中長蛇の列なので、着替えに時間を取られたくなかったら着衣の組み合わせから考え、万一濡れてしまっても着替えずに済む乾きやすいウェアを中心に構成して、最低限シャツや靴下などの簡単な着替えですませられるようにすることを推奨する。

ポンチョやレインウェアも会場に入ったらホールに入る前に脱ぐのが望ましい。行列などで屋外への出入りがあり脱がない方がよい場合でも、**屋内に入ったら即タオルでよく水滴を拭き取る**う。

